

令和7年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和7年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡国際交流協会	所管課	文化国際課
所在地	〒 020 - 8530 盛岡市内丸12番2号		
電話番号	(019) 626 - 7524	設立年月日	平成4年11月17日
代表者	理事長 鎌田 英樹	☐ 常勤 ☒ 非常勤	☐ 市OB ☐ 市現職 ☒ その他
設立目的	盛岡市の歴史、文化その他の特性を活かしながら、幅広い分野における国際交流活動を展開することにより、市民の国際相互理解と国際友好親善の促進を図り、もって「世界に開かれた魅力あるまち・盛岡」の創造に寄与することを目的とする。		
主要事業	① 国際交流に関する啓発普及並びに国際理解推進事業 ② 国際交流関係団体及びボランティアの育成・資質の向上 ③ 交流事業の計画の策定及び実施事業 ④ 姉妹都市等交流の推進事業 ⑤ その他本協会の目的を達成するために必要な事業		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無
☒ ある (アドレス http://http://www.mira-morioka.com)
☐ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) ☐ 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)
☒ 事業内容 ☒ 財務状況 ☒ 役員氏名 ☐ その他()
ホームページ以外での情報提供の方法
機関紙「国際交流もりおか」、Facebook、Instagram

3 職員構成

(単位:人)

			常勤	うち市OB	うち市派遣	非常勤	合計
役員	理事					10	10
	監事					2	2
	計		0	0	0	12	12
職員	管理職	正職員				2	2
		臨時職員		—	—		
	一般職	正職員				7	7
		臨時職員		—	—		
	計	正職員	0	0	0	9	9
		臨時職員	0	—	—		
前年度と比較して職員数の増減			増 0	減 0	常勤職員の平均年齢	53 歳	
常勤職員の給与体系							
☐ 法人独自の給与体系 ☒ 市の給与体系を準用 ☐ その他()							

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	100,000 千円	本市出資等額	100,000 千円	本市出資等割合	100.0 %
主な出資等者					
① 盛岡市	(出資等割合 100 %)				
②	(出資等割合 %)				
③	(出資等割合 %)				
④	(出資等割合 %)				
⑤	(出資等割合 %)				
令和7年度における当市の財政関与の状況	補助金	6,000 千円	(収入全体の	54.7 %)	
	負担金・交付金	0 千円	(収入全体の	%)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	%)	
	指定管理料	0 千円	(収入全体の	%)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	%)	
補助金内訳					
① 盛岡国際交流事業補助金		(令和7年度予算額	6,000	千円)	
②		(令和7年度予算額		千円)	
③		(令和7年度予算額		千円)	
負担金・交付金内訳					
①		(令和7年度予算額		千円)	
②		(令和7年度予算額		千円)	
委託料内訳					
①		(令和7年度予算額		千円)	
②		(令和7年度予算額		千円)	
指定管理料内訳					
①		(令和7年度予算額		千円)	
②		(令和7年度予算額		千円)	
③		(令和7年度予算額		千円)	
貸付目的	(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設	(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		利用料金収入(令和7年度予算額)		千円	
		法人の収入全体の		%	

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名 称	
--------	--

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度
①賛助会員数(個人)	人	計画	190	190	140
		実績	103	104	105
②賛助会員数(団体)	団体	計画	17	17	17
		実績	18	17	17
③		計画			
		実績			
④		計画			
		実績			

※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛り込まれている目標等を記載してください。

2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。

3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円、%、人)

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
収支の状況	総収入	7,619	10,142	14,101
	当期収入(A)	6,247	8,836	12,926
	基本財産運用収入	956	1,142	1,144
	会費収入(入会金収入を含む)	283	274	275
	補助金等収入	4,683	5,000	6,955
	うち市からの補助金等(B)	4,683	5,000	6,820
	事業収入(C)	25	1,720	2,029
	うち自主事業収入	25	1,720	2,029
	うち市からの委託料(D)	0	0	0
	うち市からの指定管理料(E)	0	0	0
	繰入金収入	0	0	0
	市からの借入金	0	0	0
	その他の収入	300	700	2,523
	前期繰越額	1,372	1,306	1,175
	総支出	6,313	8,967	13,481
	当期支出	6,313	8,967	13,481
	人件費	2,330	2,198	3,237
	事業費(人件費除く)	3,758	6,595	8,863
	管理費(人件費除く)	225	174	1,381
	資産取得支出	0	0	0
	繰入金支出	0	0	0
	その他の支出	0	0	0

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
収支の状況	当期収支差額	-66	-131	-555
	次期繰越収支差額	1,306	1,175	620
正味財産の状況	経常収益(F)	6,248	8,836	12,926
	経常費用	6,314	8,967	13,481
	当期経常増減額	-66	-131	-555
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
財産の状況	資産(G)	101,394	102,132	101,911
	うち固定資産	100,040	100,836	101,025
	うち流動資産(H)	1,354	1,296	886
	負債	83	152	286
	うち固定負債	0	0	0
	うち流動負債(I)	83	152	286
	正味財産(J)	101,310	101,980	101,625
	うち当期正味財産増減額	-66	669	-355
財務指標	流動比率(H/I)	1,631.3	852.6	309.7
	自己資本比率(J/G)	99.9	99.8	99.7
	職員一人当たり収益高(F/(K+L))	624.8	883.6	1,292.6
	当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	74.9	56.5	52.7
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/C)	0.0	0.0	0.0
組織の状況	常勤役員数(K)	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	10	10	10
	うち常勤職員数	0	0	0
	うち本市OB	0	0	0
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	2	2	2
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	0	0	0
	管理職員比率	20.0	20.0	20.0
	職員新規採用数	0	0	0
	うち常勤職員数	0	0	0
事業指標	① 機関紙等発行冊数	1,000	1,000	1,000
	② 補助金交付団体数	4	3	5
	③ 国際交流事業参加者数	508	551	810
	④			

区 分		令和4年度	令和5年度	令和6年度
本市の財政 的関与等の 状況	補助金額	4,683	5,000	6,820
	① 盛岡国際交流事業補助金	4,683	5,000	6,820
	②			
	③			
	負担金・交付金額	0	0	0
	①			
	②			
	委託金額	0	0	0
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料	0	0	0
	①			
	②			
	③			
	貸付金額	0	0	0
	損失補償額	0	0	0
	債務保証額	0	0	0
令和6年度決算の概要				
1 国際交流に関する啓発普及並びに国際理解推進事業・・・機関紙を年2回発行した。児童や青少年を対象とした国際交流事業や中学生による国際交流スピーチコンテストを実施した。				
2 国際交流団体及びボランティアの育成・資質の向上・・・ボランティア登録者の斡旋、ボランティア研修会を開催するとともに、国際交流事業補助金を交付した。				
3 国際交流事業・・・国際理解講座、生活オリエンテーション、日本文化体験講座を実施した。				
4 姉妹都市等交流促進事業・・・中学生ビクトリア市研修とビクトリア市からの中高生受入事業を実施した。				

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

B	A:良好、 B:概ね良好、 C:改善を要する、 D:大いに改善を要する
(コメント) 償却前赤字が発生しているものの、事業計画で見込んでいたものであり、累積欠損金もないことから、概ね良好であると言える。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和5年度決算において黒字である。		○
2	令和6年度決算において黒字である。		○
3	累積欠損金がある。		○
4	令和6年度決算において減価償却前黒字である。		○
5	事業計画どおりの償却前赤字である。	○	
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」